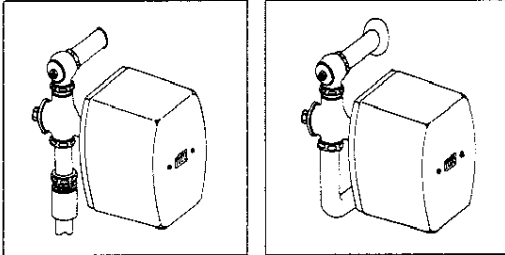


# 自動フラッシュバルブ(TEF40R、41R) 取付説明書

この製品は内蔵されたタイマーの設定時間に従って、フラッシュバルブを等間隔に作動させ、小便器を自動洗浄する装置です。

## 仕 様

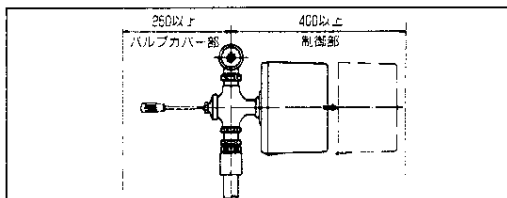
TEF40R(隠ぺい用)      TEF41R(露出用)



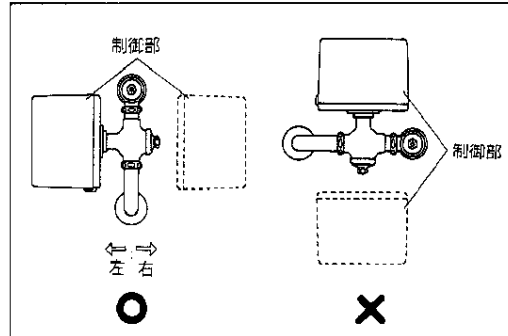
電源電圧	AC100V 50-60Hz
消費電力	常時 1W バルブ作動時91W(約1秒間)
洗浄間隔調節	3~15分間(連続可変)
起点移動調節	5段階(30秒間隔)
周囲温度範囲	0~40℃
給水部接続	25Aガスねじ(R1)
給水圧力	最低必要水圧0.7kgf/cm <sup>2</sup> 以上 最高水圧7.0kgf/cm <sup>2</sup>
吐水量	8ℓ/回~16ℓ/回に調節可能

## 取付前に

- 水道工事と電気工事は十分工程を打合せのうえ、行ってください。
- 万一の危険防止のため必ず過電流遮断器及び漏電遮断器を設置してください。
- アース端子付きですので必ず第3種接地工事を行ってください。
- 電源線・アース線は現場でご用意ください。  
★使用電線……2mm<sup>2</sup>又はφ1.6mm以上の600V絶縁電線又はケーブル
- 電気器具ですから絶対に水をかけないように注意してください。
- 取付けの際は、配線及び取付後の保守・点検が容易にできるように、必ず下図に示すスペース(余裕)をとってください。



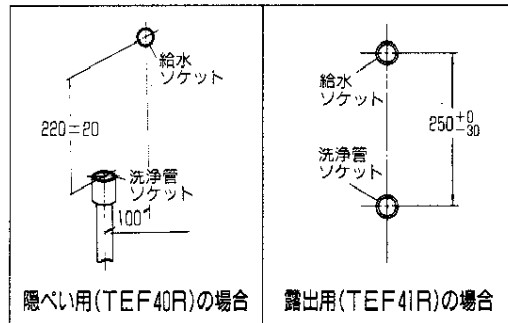
- 通電中は端子台及び回路基板に触れないでください。
- 隠ぺい用(TEF40R)の場合は、必ず点検口を設けてください。
- 下図のように制御部が右又は左になるように、取付けてください。



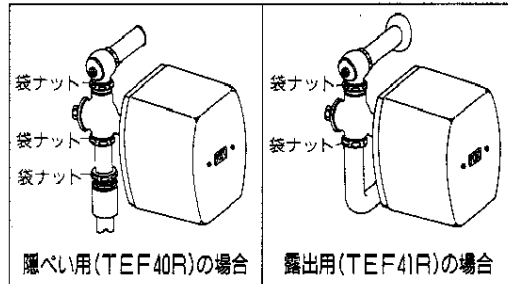
## 取付方法

取付前に必ず、給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。

- ①器具への給水・洗浄管取出し位置を確認してください。

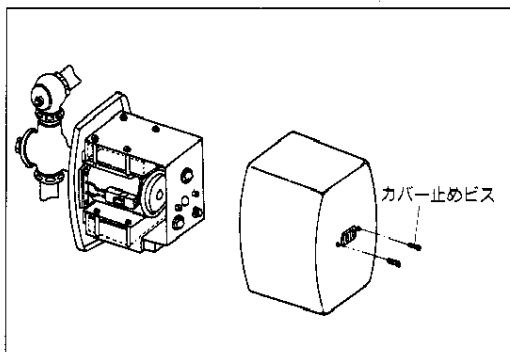


- ②自動フラッシュバルブを取付けます。

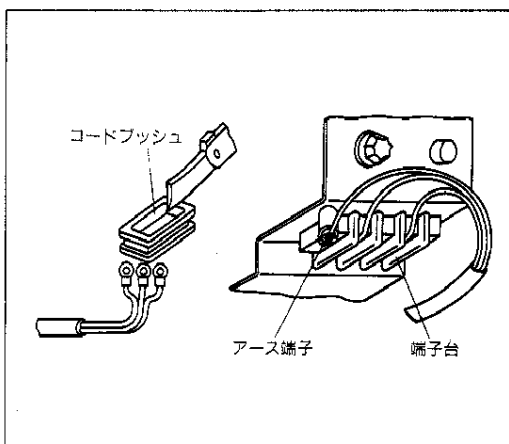


- 給水・洗浄管用ソケットとの接続は水漏れのないように十分ねじ込んでください。
- 袋ナット類は簡単にゆるまないよう十分締付けてください。

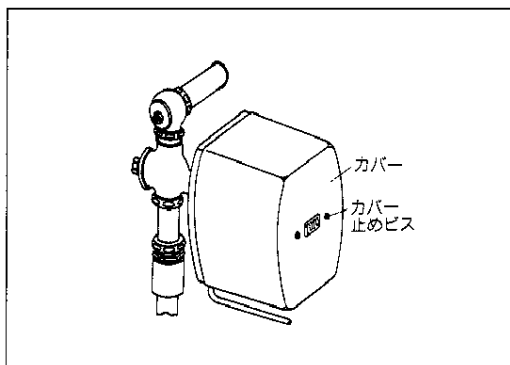
③カバー止めビスをゆるめカバーを取りはずします。



④次項の「配線要領図」に従って結線します。  
各端子への接続は、電源線（AC 100V）を端子台のB・Wに、アース線をアース端子に接続してください。なお、下図の要領でコードブッシュを切り欠き、コードをコードブッシュに通して各端子に接続してください。

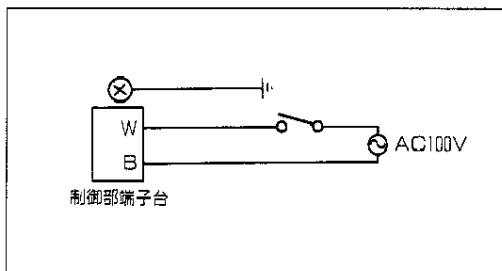


⑤洗浄間隔、起点移動の調節後、カバーを取付けてください。

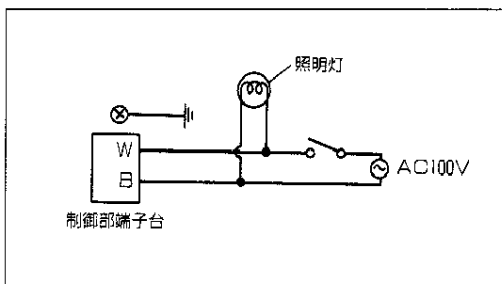


## 配線要領図

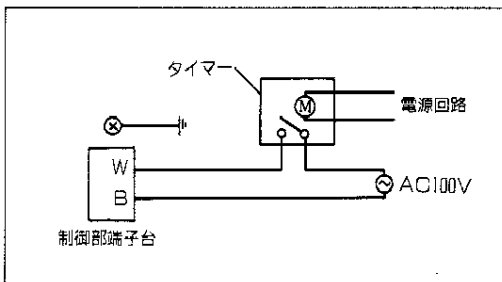
### ●専用スイッチの場合



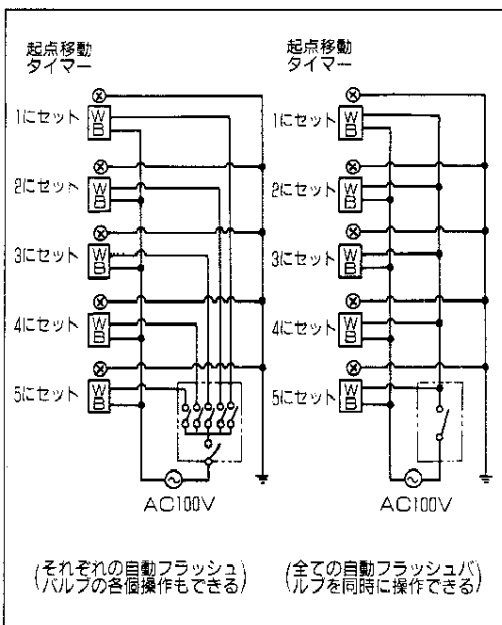
### ●照明と運動の場合



### ●タイマーを使用の場合



### ●集中制御の場合



## 洗浄間隔・起点移動の調節

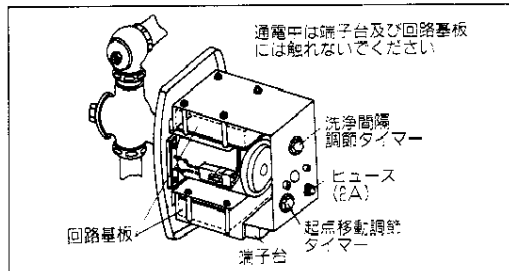
### ● 洗浄間隔の調節

洗浄間隔調節タイマーをまわしお望みの小便器洗浄間隔（3～15分間の範囲に調節可）に合わせてください。

★洗浄間隔調節タイマーは、3～15分以外の位置にセットしないでください。

### ● 起点移動の調節

一つのスイッチで数個の自動フラッシュバルブを動作させる集中制御方式の場合、スイッチONで各自動フラッシュバルブが同時に動作するため、給排水管への負荷が非常に大きくなります。起点移動調節タイマーは、各自動フラッシュバルブの作動を30秒間隔で順次作動させ、給排水管への負荷を軽減させるためのものです。調節は30秒間隔で5段階に調節できます。

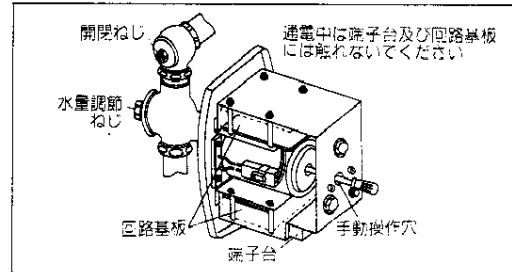


## 取付完了後の確認

配線に間違いがないことを確認後、通水・通電し、通常の使用状態で作動するかどうか確認してください。

## 洗浄水量・水勢の調節

手動操作穴からドライバー等を差し込み、穴の中心を1秒間ほど押して、水量と水勢を確認してください。



### ● 水勢の調節

開閉ねじを水勢が強いときは右に、弱いときは左に回し適度の水勢になるようにしてください。

### ● 水量の調節

水量調節ねじを水量が多いときは右に、少いときは左に回し約10秒流れるようにしてください。